

昭和54年1月～平成28年3月までに

当センターにおいて病理検査をお受けになった患者さんへ

(1) 研究の概要について

当センターでは「**悪性腫瘍・前癌病変の診断に関連する病理組織学的変化の解析**」を実施しております。

これまでに癌は遺伝子の異常によって引き起こされると考えられていますが、原因の分かっていない癌も多く存在します。また、経過がよいものや、急に悪化するもの、治療薬がよく効くもの等、様々なタイプの癌が存在します。しかし、その理由の多くはまだわかっていないため、メカニズムの解明が求められています。

現在までにがんにおいて様々な診断マーカーが検索されていますが、これらのマーカーは患者さんの早期診断のための客観的な指標として用いられるほか、特異的な抗体などを用いてそれらタンパク質の過剰発現を抑制することにより、抗腫瘍効果が得られる可能性があり、治療戦略としても大変重要と考えられます。本研究では、癌や前癌病変において、種々のタンパク質について、病型による発現の差異や予後に及ぼす影響、病態との関わりなどについて解析します。

具体的には昭和54年1月～平成28年3月までに東京都健康長寿医療センター（旧養育院附属病院、東京都老人医療センターを含む）で病理検査に提出された生検、手術検体を対象としています。また本研究は患者さんお一人ずつの直接のご同意を頂かずに、このお知らせをもって患者さん皆さんからのご同意を頂いたものとみなさせていただきます実施いたします。なおこの研究における患者さんの費用負担や謝礼などはございません。

研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「**悪性腫瘍・前癌病変の診断に関連する病理組織学的変化の解析**」 「承認番号：第 ○○番」（○○は承認後に記入）

研究期間：倫理審査委員会承認後から平成33年3月31日

研究責任者：東京都健康長寿医療センター病理診断科 松田陽子

分担研究責任者：東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム 伊藤雅史

(2) 研究の意義・目的について

病理検査に提出された癌や前癌病変の検体において、新規診断マーカーとなりうるタンパク質の同定や、それらのタンパク質と腫瘍の発症や悪性転化との関係、予後との関連性などに対して解析します。解析により腫瘍の発症・悪性化の機序が同定できれば、新しい治療戦略の開発に貢献するものと思われます。

(3) 研究の方法について

通常、病理検査に提出された生検、手術検体は診断に用いられます。我々は、この診断が終わった検体について研究を行います。具体的には、保存されている検体を用いて、免疫染色を行い、様々なタンパク質の発現の場所や量を解析します。また、必要に応じて、検体からタンパク質を抽出し、ウェスタンブロット解析を行い、タンパク質の発現を解析します。

(4) 資料の保管と、他の研究への利用について

病理部において検体を管理している以上、厳密な意味での匿名化は困難と考えられますが、実験を行う際には検体を個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、本研究によって患者さんの個人情報が増える心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後10年間保管します。保管責任者は研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センター病理診断科における所定の本棚において施錠可能な状態で保管します。

(5) 問い合わせ先

①東京都健康長寿医療センター病理診断科の問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター病理診断科 松田陽子

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2 電話 03-3964-1141 内線 2413 (平日 9:00~17:00)

苦情窓口：東京都健康長寿医療センター医療サービス推進課医事係 (仮)

03-3964-1141 内線 1121 (対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)

②東京都健康長寿医療センター研究所の問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム 伊藤雅史

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2 電話 03-3964-1141 内線 4301 (平日 9:00~17:00)

苦情窓口：東京都健康長寿医療センター医療サービス推進課医事係 (仮)

03-3964-1141 内線 1121 (対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)